

## さいたま市長メッセージ（令和2年7月8日）

皆さん、こんにちは、さいたま市長の清水勇人です。

東京都で連日100名を超える新規陽性者が報告されています。本市でも、接待を伴う飲食店で発生したクラスターを含め、6月26日から7月6日までに計45名の新規陽性者が判明しています。このうち20代、30代が31名と約7割を占めています。また、この間の感染経路不明者は、6名です。

陽性者が発生した店舗については、従業員のPCR検査を進めるとともに、来店者への検査の呼びかけを行っているところです。

クラスターの発生を受けて、7月6日に、大宮商店街連合会、大宮東口及び大宮西口商店街連絡協議会などの方々と直接お会いをし、今後の対応や、飲食店等における感染症予防策などの情報交換を行いました。出席された皆様方からは、風評被害とならないように公表の仕方に気を付けることやPCR検査の方法、商店会への支援策など、多岐にわたり、貴重なご意見を頂戴しました。今後の施策に生かしてまいります。

本市では、クラスターの発生を事前に防ぐことを目的とし、準備が整い次第、埼玉県と協力して、大宮地区南銀座地域のキャバクラ、ホストクラブ全店舗に對して、全従業員を対象にPCR検査の実施を呼びかけます。

各店舗の皆様には、検査にご協力いただきますとともに、事業別ガイドライン等を確認し、しっかりと実践していただきたいと思います。ともに安心して訪れることができる街をつくっていきましょう。

社会経済活動の活発化に伴い、再び感染拡大の兆しが見えています。

しみん みなさま とく わか せだい みなさま じしん たいせつ かた いのち まも  
市民の皆様、特に若い世代の皆様には、ご自身とともに大切な方の命を守る  
ため、今一度、自らの行動を見直していただきたいと思います。